

2015年12月18日

## 栗の名産地笠間から、新食感クッキー『おちぼ栗』誕生！

JR 東日本水戸支社は、6次産業化※)に向けてJR 東日本グループで取り組んでいる「のもの1-2-3」プロジェクトの一環として、茨城県の「栗」を活用した新たなクッキー『おちぼ栗』を、1月よりJR水戸駅のエキナカ店舗で販売します。

日本一の生産量を誇る茨城県、その最大の生産地である笠間の栗を使い、地元の菓子店「(有)グリユイエール」と一緒に作り上げた新しい食感のクッキーを、是非ご賞味ください。

今後も、土地の素材を活かした地元ならではの商品を企画・開発・販売し、地域の農林漁業等、地場産業の活性化と地産地消の推進に貢献してまいります。

※) 農林漁業生産(1次産業)と加工(2次産業)・販売(3次産業)を一体化することにより、地域資源を活用した新たな産業を創出すること。1×2×3=6となることから、6次産業化と呼ばれています。

### 1 販売開始日

2016年1月1日(金)～

### 2 商品内容

- (1) 商品名 「おちぼ栗」
- (2) 価格 1袋(8枚入り) 480円(税込)
- (3) 販売箇所 ①JR水戸駅改札内 「IBARAKI E-MONO(いばらき いいもの)」  
②JR笠間駅前 「洋風笠間菓子グリユイエール」

### 3 商品概要

日本一の生産量を誇る茨城県の栗。その県内最大の生産地「笠間の栗」を広く知ってもらい、その魅力を伝えたいという思いから生まれた商品です。

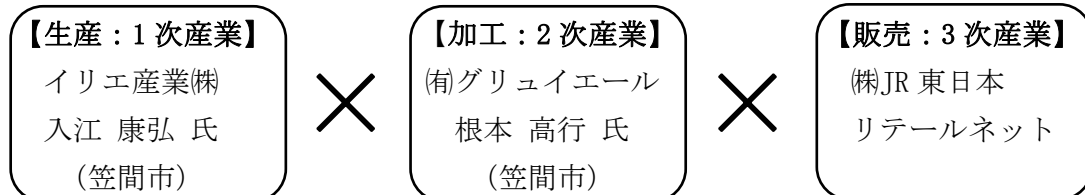
笠間の栗の中でも、粒が小さいなどの規格外品を活用し、パウダー状にして贅沢に生地に練り込んで作っています。

しっとり・サクサクの新しい食感を味わえるクッキーは、自分用のおやつとしても、また茨城のお土産として贈るのにも最適です。



【商品イメージ】

### 4 プロジェクトメンバーについて



5 「笠間の栗」の特徴と笠間市の取り組みについて

茨城県は栗の栽培面積・生産量ともに全国1位を誇る生産地であり、なかでも笠間市は栽培面積県内1位を誇っています。その穏やかで昼夜の温度差のある気候や、火山灰土壌など、恵まれた環境のなかでふっくらと薫り高い栗が育まれ、早生（8月下旬）から晩生（10月中旬）まで色々な品種を栽培しています。

笠間市では、笠間の栗のブランド化と栗産地の活性化に取り組んでいます。その中で、「笠間の栗」の統一ロゴマークを制作し、生産者や加工者に使用してもらうことで更なる栗のブランド化を図っています。



【「笠間の栗」ブランドロゴ】

6 「のもの1-2-3」プロジェクトについて

地域の魅力ある農産物等の素材と優れた加工技術を組み合わせ、JR東日本グループがプロデュースすることで、6次産業化に向けたものづくりを推進し、地域における新たな産業の創出とさらなるマーケットの需要拡大を図るプロジェクトです。



JR東日本グループはグループ経営構想Vのもと地域の発展に貢献していくことを使命として、今後も地域との連携を強化して参ります。